

教科名	歯の解剖学実習
責任者名	山崎 洋介(解剖学Ⅱ 准教授)
学期	前期
対象学年	2学年
授業形式等	実習

資料添付

◆担当教員

山崎 洋介 (解剖学Ⅱ 准教授)
磯川 桂太郎 (解剖学Ⅱ 教授)
湯口 真紀 (解剖学Ⅱ 助手)
岸 重人 (解剖学Ⅱ 兼任講師)
松井 弘行 (解剖学Ⅱ 兼任講師)
横山 弘一 (解剖学Ⅱ 兼任講師)
山本 達也 (解剖学Ⅱ 兼任講師)
宮本 晃宏 (解剖学Ⅱ 兼任講師)
本淨 敏 (解剖学Ⅱ 兼任講師)
松林 万紀子 (解剖学Ⅱ 兼任講師)
玉木 理一郎 (解剖学Ⅱ 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯の形態を他者に図示を交えて説明できるようにするために、歯の解剖を覚え、深く理解する。
知識が手と連動することで、治療や技工操作として行えるようにするために、訓練する。

◆到達目標 (SBOs)

歯冠と歯根の形態を図示して説明できる。
歯髄腔、根管の形態と特徴について説明できる。
異常形態、部位、頻度などを歯種ごとに説明できる。
歯列、咬合と歯の形態の関係を説明できる。
歯の形成と萌出の時期について説明できる。

◆評価方法

成果物などの提出と小テストを随時行う。成績はこれら(5%)に加え、2回の実習試験(第1回40%、第2回55%)で評価する。出席状況や実習態度に問題がある場合は減算する。実習試験については、補習レポートを介してフィードバックし、知識と技能の定着を図る。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
山崎 洋介	月曜日 12:00~13:00 解剖2研究室	yamazaki.yosuke@nihon-u.ac.jp 03-3219-8121	NU-MailGからのメールで、来室アポイントの照会に応じるが、授業内容についてのメール質問は受け付けない。

◆授業の方法

- ・毎回の実習講義と実習(スケッチまたはカービング)を基本とし、歯の形態を学習する。
- ・歯の形態を描いたり、彫刻したりして、他者に正確に示せることを重要視する。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
実習書	歯の解剖学実習マニュアル	日本大学歯学部解剖学第Ⅱ講座編	日本大学歯学部解剖学第Ⅱ講座	2019
実習書	iBooks 歯型彫刻マニュアル (ダウンロードについて別途案内する。)	日本大学歯学部解剖学第Ⅱ講座編	日本大学歯学部解剖学第Ⅱ講座	2019
教科書	歯の解剖学 第22版	藤田恒太郎原著	金原出版	1995

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
参考書	歯のかたち - 初学者のための基礎と演習 -	磯川桂太郎ら編 網干博文、山崎洋介ら著	永末書店	2006
iOS用アプリ	Medical KOS https://itunes.apple.com/jp/app/medical-kos/id654909468?mt=8		メタ・コーポレーション・ジャパン	
iOS用アプリ	NUSD KOS (Medical KOSの日大歯専用カスタマイズ版。ダウンロードについて別途案内する。)		メタ・コーポレーション・ジャパン 日本大学歯学部解剖学第Ⅱ講座	

◆DP・CP

<p>[DP-3] コンピテンス：論理的・批判的思考力 コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。</p> <p>[CP-3] 幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。</p> <p>[CP-4] 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。</p> <p>[CP-5] 研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。</p>
--

◆準備学習(予習・復習)

シラバスを参考に実習書の該当箇所を熟読し、指定された教科書などを使用した自己学習を有効かつ適正に利用することで学習効果を高めることができる。
--

◆準備学習時間

準備学習に記載された事項に必要なだけの時間を充てて予習を行うこと。

◆予定表

- 【注意事項】
- ・本教科は実習科目である。便宜上、実習講義と実習を区別するが、いずれも実習として出席が必須である。
 - ・遅刻は実習態度不良と記録する。
 - ・実習に関する種々の連絡をメールで行うので、メールチェックを怠らぬこと。
 - ・毎回実習に持参するもの：教科書、実習書、筆記用具、iPad、白衣、歯の模型
 - ・カービング実習に持参するもの：上記に加えて、パフアローナイフ（直）、エバンス刀、ベンチクロス、ワックス棒、その他カービングに関わる器材
 - ・忘れ物等あった場合には、実習準備不足として、実習態度不良と記録する。
 - ・本教科では、**教育的、倫理的、法的観点**からスライドと板書を含む講義・実習の撮影、録音、録画を一切禁止する。このことは学部要覧にも記載されている。
 - ・予定表各コマに付記されているコアカリキュラムはあくまで参考情報である。講義、実習からmore than a core-curriculumを学びとり、自分のものとせよ。
 - ・5月15日の実習試験1は、1限目に行う。「脈管・感覚器」は授業時間交換で、5限目に行う。
 - ・第7回実習は、5月25日（土）に行う。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.3	5 ~ 7	【実習講義】 総論 ・歯の種類、名称 ・歯の記号 ・歯の構造と名称 ・歯の方向用語 ・歯と歯周組織 ・展開図の理解 ・展開図を描く	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの歯の種類と名称を説明できる。 ・歯種と位置を表す記号と歯式を説明できる。 ・歯冠、歯根ならびに歯髄腔の形態を学び、各部位の名称を説明できる。 ・歯の方向用語を覚えて、空間的な理解と説明ができる。 ・歯の形態と内部構造、歯周組織について学び、様々な医用画像との関係を知る。 ・歯の形態を形づくる組織構造やこれを支持する組織の概要を学ぶ。 ・iPad等、デジタルデバイスでの解剖学の新しい学習法を知り、活用出来る。 ・歯を近遠心、頬舌側、切縁(咬合面)から見たスケッチを展開図として描いて、歯の形態を学習する方法を理解する。 ・計測値の3倍大で模型歯の展開図を方眼紙上で書き、形態の把握の仕方を体験する。 	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
2		4.10	5	【実習講義】 切歯群および犬歯の形態 ・上下顎の中切歯および側切歯の形態 ・上下顎の犬歯の形態	<ul style="list-style-type: none"> ・切歯、犬歯の解剖学的な特徴を学び、図示して説明できる。 	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
2		4.10	6 ~ 7	【実習】 ・右側上顎中切歯の展開図を描く ・右側上顎犬歯の展開図を描く	・実習書に右側上顎中切歯の計測値の3倍大の展開図を描き、上顎中切歯の形態について理解を深める。 ・実習書に右側上顎犬歯の計測値の3倍大の展開図を描き、上顎犬歯の形態について理解を深める。	山崎 洋介 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
3		4.17	5	【実習講義】 上顎小白歯群の形態 ・上顎第一小白歯の形態 ・上顎第二小白歯の形態	・上顎小白歯の解剖学的な特徴を学び、図示して説明できる。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
3		4.17	6 ~ 7	【実習】 ・右側上顎第一小白歯の展開図を描く ・右側上顎第二小白歯の展開図を描く	・実習書に右側上顎第一小白歯の計測値の3倍大の展開図を書き、上顎第一小白歯の形態について理解を深める。 ・実習書に右側上顎第二小白歯の計測値の3倍大の展開図を書き、上顎第二小白歯の形態について理解を深める。	山崎 洋介 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
4		4.24	5	【実習講義】 下顎小白歯群の形態 ・下顎第一小白歯の形態 ・下顎第二小白歯の形態	・下顎小白歯の解剖学的な特徴を学び、図示して説明できる。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
4		4.24	6 ~ 7	【実習】 ・右側下顎第一小白歯の展開図を描く ・右側下顎第二小白歯の展開図を描く	・実習書に右側下顎第一小白歯の計測値の3倍大の展開図を書き、下顎第一小白歯の形態の特徴を把握する。 ・実習書に右側下顎第二小白歯の計測値の3倍大の展開図を書き、下顎第二小白歯の形態の特徴を把握する。	山崎 洋介 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
5		5.8	5	【実習講義】 まとめ1	・これまでに学修した、切歯、犬歯、小白歯の形態について、講義により小括し、理解を深める。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
5		5.8	6 ~ 7	【実習】 歯型彫刻 1	歯型彫刻を行う前段階として、基本的な立体のカービングを行い、インストルメントの使い方を習得し、器材や材料の特性も知る。	山崎 洋介 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
6		5.15	1	【実習試験 1】	これまで学んだ切歯、犬歯、小白歯に関する事項について問う。詳細はメールにより連絡する。	山崎 洋介	第1~5回実習に記されているコアカリ項目すべて。
6		5.15	6 ~ 7	【実習】 歯型彫刻 2	・ワックス棒で右側上顎中切歯の歯型彫刻を行い、その3次元的な形態を再現する。 ・これまで学修した上顎中切歯の隆線、溝、窩、豊隆部、歯頸線、咬頭などの形態とそれぞれの位置関係を再確認する	山崎 洋介 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
7		5.25	5	【lecture】 歯の起源と進化 I 1)歯の定義 2)脊椎動物の歯	・角質歯、卵歯など“歯”の語がつく構造と、いわゆる“歯”とされる構造との違いを理解する。 ・脊椎動物における多様な歯の形態を学ぶことを通して、ヒトの歯の形態が持つ意義や、歯の硬組織あるいは歯を支持する組織の特徴を理解する。	磯川 桂太郎	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
7		5.25	6	【lecture】 歯の起源と進化Ⅱ 3)哺乳類の歯 4)三結節説	・哺乳類の基本歯式を知り、ヒトの歯式との違いについて系統発生を踏まえ説明できるようにする。 ・家畜やペット等の身近な動物、主な実験動物・霊長類の歯のかたちや歯式を知る。 ・三結節説の概要を学び、ヒトの歯の形態の成り立ちについての考え方や術語を知る。	磯川 桂太郎	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
7		5.25	7	【実習講義】 まとめ2	・これまでに学修したことについて、講義により小括し、理解を深める。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
8		5.29	5	【実習講義】 上顎大白歯群の形態 ・上顎第一大臼歯の形態 ・上顎第二・第三大白歯の形態	・上顎大白歯の解剖学的な特徴を学び、図示して説明できる。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
8		5.29	6 ~ 7	【実習】 右側上顎第一大臼歯の展開図を描く	実習書に右側上顎第一大臼歯の計測値の3倍大の展開図を描き、上顎第一大臼歯の形態について理解を深める。	山崎 洋介 解剖Ⅱ兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
9		6.5	5	【実習講義】 下顎大白歯群の形態 ・下顎第一大臼歯の形態 ・下顎第二・第三大白歯の形態	・下顎大白歯の解剖学的な特徴を学び、図示して説明できる。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
9		6.5	6 ~ 7	【実習】 右側下顎第一大臼歯の展開図を描く	・実習書に右側下顎第一大臼歯の計測値の3倍大の展開図を描き、下顎第一大臼歯の形態について理解を深める。	山崎 洋介 解剖Ⅱ兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
10		6.12	5	【実習講義】 歯列と咬合	・これまで学んだ個々の歯の形態が、歯列としてどう機能するかを理解する。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
10		6.12	6	【実習講義】 歯形成のクロノロジー	・歯胚の形成から歯が萌出するまでのプロセスの概要とその時間的経過について学び、整理する。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
10		6.12	7	【実習講義】 異常形態	・歯にみられる様々な異常形態について知る。 ・それら異常形態の出現する歯や部位について学び、臨床との関連性について理解する。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
11		6.19	5	【実習講義】 歯の鑑別法 1)歯種の鑑別 2)上下の鑑別 3)順位の鑑別 4)左右の鑑別	・永久歯の歯種鑑別の仕方を学習する。 ・各歯種の上下鑑別の仕方を学習する。 ・同一歯種内の順位鑑別の仕方を学習する。 ・各歯の左右鑑別の仕方を学習する。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
11		6.19	6 ~ 7	【実習】 歯の鑑別 1	・模型歯を使用して歯を鑑別する。	山崎 洋介 解剖Ⅱ兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
12		6.26	5	【実習講義】 まとめ3	・これまでに学修した、大白歯の形態と歯の鑑別に関する事項について、講義により小括し、理解を深める。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
12		6.26	6 ~ 7	【実習】 歯の鑑別 2	・抜去歯やレントゲン写真, CT画像などを参考に歯の鑑別をする。	山崎 洋介 ⊕ 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
13		7.3	5 ~ 7	【実習】 歯型彫刻 3	・ワックス棒で右側下顎第一大臼歯の歯型彫刻を行い, その3次元的な形態を再現する。 ・これまで学習した下顎第一大臼歯の隆線, 溝, 窩, 豊隆部, 歯頸線, 咬頭などの形態とそれぞれの位置関係を再確認する。	山崎 洋介 ⊕ 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。
14		7.10	5 ~ 7	【実習試験 2】	・これまで学んだ大臼歯に関する事項を中心に問う。また、歯の鑑別に関する試問を行う。詳細はメールにより連絡する。	山崎 洋介	第7~13回実習に記されているコアカリ項目すべて。
15		7.17	5	【実習講義】 歯のCT像	・歯科におけるX線画像診断とX線CTの基礎について知る。	山崎 洋介	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-1-2)-⑨ 造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(Computed Tomography)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(Magnetic Resonance Imaging)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。
15		7.17	6 ~ 7	【実習】 歯のCT像	・これまで学んだ歯の外部および内部の立体構造をCT画像で確認しながら理解する。 ・歯の形態的な特徴点をCT画像上で確認できるようソフトウェア操作を学び, 将来, 歯科臨床でも必要となる知識であることを知る。 ・パソコンやiPad上で医用画像をハンドリングする利便性と難しさを体験し, 画像診断の基礎としての解剖学的重要性を知る。	山崎 洋介 磯川 桂太郎 湯口 眞紀 ⊕ 解剖 II 兼任(歯の解剖)	E-3-1)-② 歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-1-2)-⑨ 造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(Computed Tomography)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(Magnetic Resonance Imaging)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

閉じる

↑ Topに戻る